



食害に遭った
外入地区の伊予柑畑

問 現在の「捕獲と防御と棲み分け」の対策に加え、新たな対策を講じなければ、町民の生命と財産を守れない段階にきています。
今後のイノシシ対策の方針を伺います。



吉村 忍 議員

イノシシ対策について

答 「捕獲」と「防御」の施策は今後も継続していくと共に、「生息地の管理」を本格的に実施していく必要があると考えています。

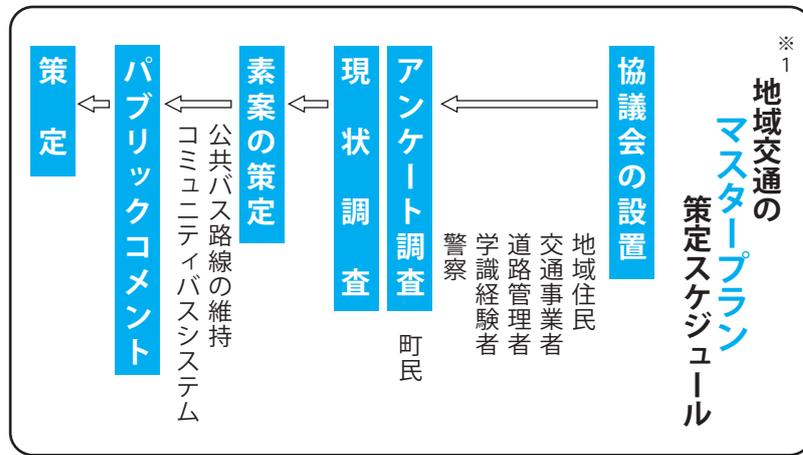
また、今後の対策をより効果的に実施するためにも、生息数や生態の把握は必要であり、その方法等について、検討していきたい。

地域公共交通について

問 自ら交通手段を持たない買い物弱者や今後の役場出張所の廃止に伴い来庁が困難となる方、町立病院への通院で乗り換え便がなく帰宅困難となつている方、通学が不便な高校生。高齢者や身体障害者等の交通弱者のため、地域公共交通の整備は喫緊の課題であると考えますが、町長の所見を伺います。

答 町内の公共交通の現状・問題点、課題の整理を行い、町が中心となり、交通事業者、地域住民と連携した、地域交

通のマスタープラン※1を策定し、公共交通網をその計画に沿って整えていかなければならないと考えています。



また、このマスタープランを策定するためには、ある程度の時間が必要になると想定されますが、現状を踏まえつつ、実施に向け、早急に検討を進めていきたい。

不法投棄対策について

問 後を絶たない道路沿いや漁港等での不法投棄について、これまで以上の防止対策を講じる必要があると考えますが、執行部の見解を伺います。

答 これまでの啓発型のものに加え、効果的な対策※2という観点からの周知（ホームページ及び広報）を考えています。



不法投棄常習箇所

※2 不法投棄防止の効果的な対策

- ☆管理地の様子を定期的に確認する
- ☆早期に発見し、素早く撤去
- ☆監視カメラの設置